

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すたありっと豊中		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 3日		2026年 3月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年 3月 3日		2026年 3月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ソーシャルスキルトレーニング(SST)を採用したロールプレイを実施している ※児童発達の利用者無し	ロールプレイの中で対人スキルを学びながら自己肯定感と問題解決力を高めるプログラムを用いて、挨拶や会話の練習、感情のコントロール意見の伝え方など、利用者それぞれの課題に着目した内容で支援をおこなっている。 ※児童発達の利用者無し	日頃の利用者との関りの中でアセスメントを取りロールプレイ内容に盛り込むことで利用者の課題により特化した支援が行える ※児童発達の利用者無し
2	・自立支援や日常生活の充実の為に活動を日々取り入れている。 ※児童発達の利用者無し	・活動を通して季節に合ったイベントを取り入れ、日常生活での動作の習得や集団活動への適応のに向けた支援を行う。 ※児童発達の利用者無し	・経験や体験を増やし個々の自信に繋がる様に心掛けていく。 ※児童発達の利用者無し
3	土曜日・祝日はイベントをプログラムに組み込み日頃のロールプレイで学んだ事を実際にイベントの現地等で実践出来るかを確認し、その中で見えた課題を再度ロールプレイに組み込んで汎化して支援を行う ※児童発達の利用者無し	イベント終了時に振り返りを行い、良かった点と改善点の意見を出し合って支援向上に務めている ※児童発達の利用者無し	イベントを立案する際に利用者が興味を持つような工夫を行い職員間でローテーションで立案しながら取り組んでいく ※児童発達の利用者無し

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のこどもとの交流機会が不足していること ※児童発達の利用者無し	「放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会」を活動としての提供の企画・調整が現状は難しい。 ※児童発達の利用者無し	保護者の方の要望などを伺いながら、必要とされている交流の方法などを検討していく必要がある。 ※児童発達の利用者無し
2	第三者委員会など外部の機関を運営に取り入れることができていない。 ※児童発達の利用者無し	外部機関とつながれるようにする体制づくりの時間の確保が難しい。 ※児童発達の利用者無し	市町村や公的団体へ方法の助言を聞くなど取り組みをしていきたい。 ※児童発達の利用者無し
3			